

漢字ドリル

漢検 **2** 級

第56巻

練習＋問題

読み、書き、くり返し。



35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

冶 凄 剝 剝 勃 勾

練習してから、問題に挑戦

本文 42ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com



2きゅう 56かん たんい1 れんしゅう (1)

なまえ



凄

1 3 7
2 4 5 6 8 9 10

音

セイ

・ 凄
艶 せいえん

・ 凄
惨 せいさん

・ 凄
絶 せいぜつ

部首
凄 にすい 10画

治

1 3 4
2 5 6 7

音

ヤ

・ 治
金学 やきんがく

・ 陶
治 とうや

・ 治
金 やきん

部首
治 にすい 7画

剥

1 2 10
3 4 5 6 7 8 9

訓

音

は は は は ハク
(げる) (がれる) (ぐ) (がす)

・ 剥 は
がす

・ 剥 奪 はくだつ

・ 剥 ぐ はぐ

部首
剥 りつとう 10画

刹

1 2 7 8
3 4 5 6

音

セツ サツ

・ 刹 せつな
那

・ 古 刹 こさつ

・ 名 刹 めいさつ

部首
刹 りつとう 8画





2きゅう 56かん たんい1 れんしゅう (2)

なまえ



勾

勾
音 コウ
- 勾留 (こうりゅう) - 急勾配 (きゅうこうはい) - 勾配 (こうはい)
部首 勾 つつみがまえ 4画

勃

勃
音 ボツ
- 勃然 (ぼつぜん) - 勃興 (ぼつこう) - 勃発 (ぼつはつ)
部首 勃 ちから 9画

止

止
訓 と (める)
音 シ
- 休止 (きゅうし) - 中止 (ちゅうし) - 止まる (とまる)
部首 止 とめる 4画

一

一
訓 ひと (つ)
音 イチ
- 一月 (いちがつ) - 一年 (いちねん) - ひとつ
部首 一 いち 1画





2きゅう 56かん たんい1 よみのれんしゅ
う2

なまえ



凄

1 3 7
2 4 5 6 8 9 10
凄

音

セイ

- ・ 凄艶 (せいえん)
- ・ 凄惨 (せいさん)
- ・ 凄絶 (せいつつ)

冶

1 3 4
2 5 6 7
冶

音

ヤ

- ・ 冶金学 (やきんがく)
- ・ 陶冶 (とうや)
- ・ 冶金 (やきん)

剥

1 2 9 10
3 5 4 7 6 8
剥

訓

音

は は は は ハク
(ける) (がれる) (ぐ) (がす)

- ・ 剥奪 (はくだつ)
- ・ 剥げる (はげる)
- ・ 剥がれる (はがれる)

部首
凄 にすい 10画

部首
冶 にすい 7画

部首
剥 りっとう 10画





2きゅう 56かん たんい1 A

なまえ



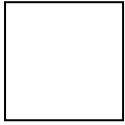
/ 16

6

山奥の

古

こ



さつ

で修行する

5

赤いえんぴつを



いっ

本

ぼん

かりる

4

小学校に入って



いち

年

ねん

がたつ

3

国境で紛争が



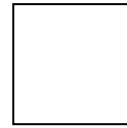
ぼっ

発

ぼっ

する

2



せつ

那

な

の輝きを写真に収める

1



や

金

きん

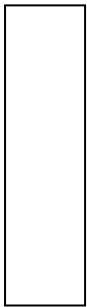
の技術が発達する

12

戦国大名が領地を

剥奪

される



11

電池が切れて時計が止まる

止まる

止まる

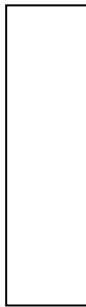


10

屋根の勾配をゆるくする

勾配

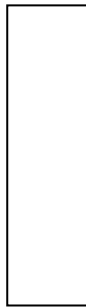
をゆるくする



9

木の皮を剥ぐ

剥ぐ



8

決勝は凄絶な打ち合いになった

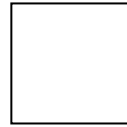
凄絶

な打ち合いになった



7

新しい産業が



ぼっ

興

こう

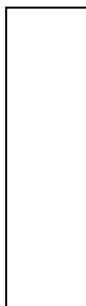
する

16

中止になった遠足は来週行く

中止

になった遠足は来週行く

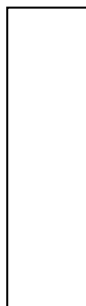


15

スキー場で勾配のきつい斜面を滑る

勾配

のきつい斜面を滑る



14

被災地の凄惨な光景が報じられた

凄惨

な光景が報じられた

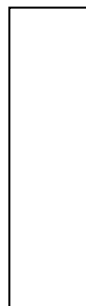


13

値札のシールを剥がす

剥がす

剥がす





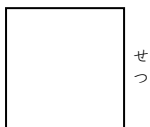
2きゅう 56かん たんい1 A-2

なまえ



/ 17

6



那^な
的^{てき}
に生きる

5

鎌倉の

名^{めい}

を巡る

4



金^{きん}
学^{がく}
の研究室に入る

3

読書で人格を

陶^{とう}

する

2

道^{みち}で円^{えん}

玉を見つけた

1

お正月のある



月^{がつ}
は寒い^{さむい}

12

能面が
凄^{...}
艶^{...}
な美しさをたたえる



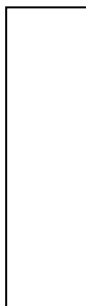
11

冬山での
凄^{...}
絶^{...}
な体験を語る



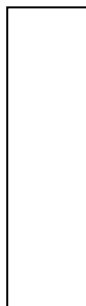
10

看板の塗装が
剥^{...}
げ
る



9

湿気で壁紙が
剥^{...}
が
れる



8

梅^{うめ}
影^{かげ}

たる野心を抱く

7



然^{ぜん}
として顔色を変える

17

工事の間
ブールは
休^{...}
止^{...}
する



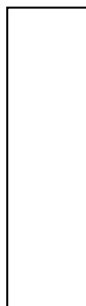
16

転^{ころ}が
ってきたボールを
足^{...}
止^{...}
め
る



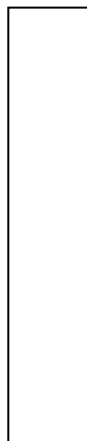
15

裁判所が
勾^{...}
留^{...}
を認める



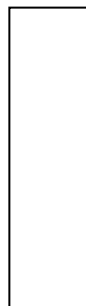
14

峠道は
急^{...}
勾^{...}
配^{...}
で自転車を押して歩く



13

ドーピングで金メダルが
剥^{...}
奪^{...}
された





2きゅう 56かん たんい1 B

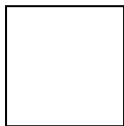
なまえ



/ 16

6

山小屋に



製

の熊を飾る

5

空襲の



惨

な体験を語り継ぐ

4

台風で花火大会が

中



になる

3

屋根の



配

をゆるくする

2

戦国大名が領地を



奪

される

1

決勝は



絶

な打ち合いになった

12

おやつクッキーを一つ



ずつくばる

11

国境で紛争が勃発する



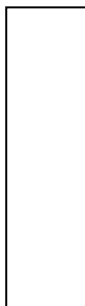
10

刹那の輝きを写真に収める



9

冶金の技術が発達する



8

ゲームを一時

休



する

7

登山電車が

急



配

を上る

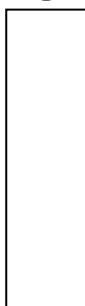
16

第一次世界大戦が勃発した年を調べる



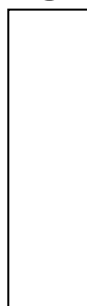
15

鉄鋼会社に入るため冶金学を専攻する



14

カレンダーをめくると六月一日だった



13

山奥の古刹で修行する





2きゅう 56かん たんい2 れんしゅう (1)

なまえ



呂

呂

音

ロ

・ 風呂敷
ふうしき

・ 風呂場
ふうば

・ 語呂
ごろ

部首
呂 くち 7画

勾

勾

訓

におう

・ 勾い袋
ごいぶくろ

・ 勾い
ごい

・ 勾う
ごう

部首
勾 つつみがまえ 4画

咽

咽

音

イン

・ 咽頭炎
いんとうえん

・ 咽頭
いんとう

・ 咽喉
いんこう

部首
咽 くちへん 9画

呪

呪

訓

のろ(う)

音

ジュ

・ 呪文
じゅもん

・ 呪術
じゅじゆつ

・ 呪う
のろう

部首
呪 くちへん 8画





2きゅう 56かん たんい2 れんしゅう (2)

なまえ



唄

唄
訓 うた
・島唄 しまうた
・小唄 こうた
・長唄 ながうた
部首 唄 10画

哺

哺
音 ホ
・哺乳瓶 ほにゅうびん
・哺乳類 ほにゅうるい
・哺育 ほいく
部首 哺 10画

城

城
訓 しろ
音 ジョウ
・城下町 じょうかまち
・古城 こじょう
・城 しろ
部首 城 9画

暗

暗
訓 くら(い)
音 アン
・暗号 あんごう
・暗算 あんざん
・暗記 あんき
部首 暗 13画





2きゅう 56かん たんい2 A

なまえ



/ 16

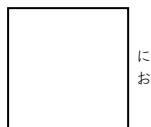
6

僧が



文もん
を唱える

5



い袋ぶくろ
をたんすに入れる

4

九九を声に出して



記き
する

3

ニホンザルが子を



育いく
する

2

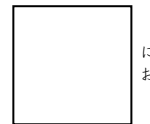
古代の



術じゆつ
を研究する

1

寺の本堂にお香の



い
が漂う

12

昔の人が石を積んで
城を築いた



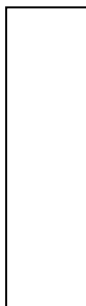
11

歌舞伎の長唄
を稽古する



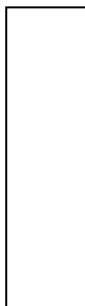
10

歌手が咽
喉の不調で休演する



9

語呂
のいい名前を考える



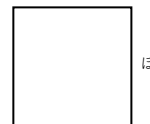
8

紙に書かずに



算ざん
で答える

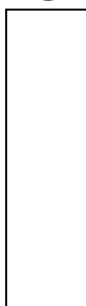
7



乳類
の進化をたどる

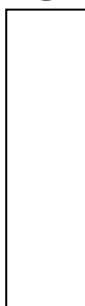
16

山の上の古
城から町を見下ろす



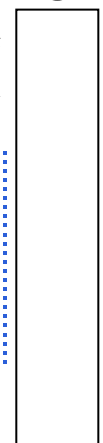
15

上機嫌で鼻
唄を歌う



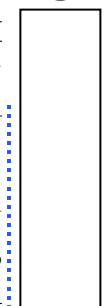
14

声がかれて耳
鼻咽喉科を受診する



13

年号を語呂
合わせで覚える





2きゅう 56かん たんい2 B

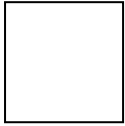
なまえ



/ 16

6

内視鏡で



いん

頭

を
検
査
す
る

5

風



ろ

場

の
換
気
扇
を
回
す

4

ヨーロッパの

古



じょう

を
訪
ね
る

3

歌舞伎の

長

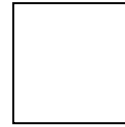


うた

を
稽
古
す
る

2

歌手が



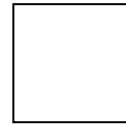
いん

喉

の
不
調
で
休
演
す
る

1

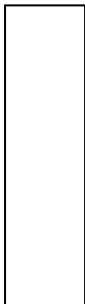
語



ろ

の
い
い
名
前
を
考
え
る

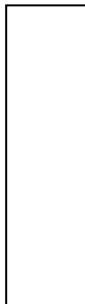
12

詩を
暗
記
し
て
発
表
す
る

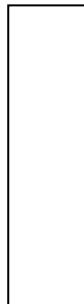
11

ニホンザルが子を
哺
育
す
る

10

試合当日の大雨を
呪
う

9

庭の梅の花が
匂
う

8

昔ながらの



じょう

下

町

を
歩
く

7

お座敷で

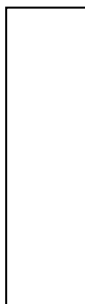
小



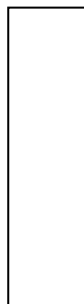
うた

を
披
露
す
る

16

おつりを
暗
算
す
ば
や
く
出
す

15

コウモリは空を飛ぶ
哺
乳
類
だ

14

台所からカレーの
匂
い
が
す
る

13

古代の
呪
術
を
研
究
す
る



2きゅう 56かん たんい3 れんしゅう (1)

なまえ



	訓 音 のど コウ		訓 音 つば ダ
	・ 喉 仏 ・ 喉 頭 ・ 喉 元		・ 唾 棄 ・ 生 唾 ・ 唾 液
	部首 口 喉 くちへん 12画		部首 唾 くちへん 11画

	訓 音 かぐ キユウ		音 ユ
	・ 嗅 神 経 ・ 嗅 覚 ・ 嗅 ぐ		・ 直 喻 ・ 隠 喻 ・ 比 喻
	部首 口 嗅 くちへん 13画		部首 喻 くちへん 12画



2きゅう 56かん たんい3 れんしゅう (2)

なまえ



堆

音

タイ

- ・堆積岩 たいせきがん
- ・堆肥 たいひ
- ・堆積 たいせき

部首

堆

つちへん

11画

嘲

訓

あざけ(る)

音

チヨウ

- ・嘲笑 ちやうしやう
- ・自嘲 じちやう
- ・嘲る あざける

部首

嘲

くちへん

15画

述

訓

の(へる)

音

ジュツ

- ・述語 じゆつご
- ・口述 こうじゆつ
- ・記述 きじゆつ

部首

述

しんによう

8画

停

音

テイ

- ・停電 ていでん
- ・停車 ていしや
- ・停止 ていし

部首

停

にんべん

11画





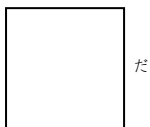
2きゅう 56かん たんい3 A

なまえ



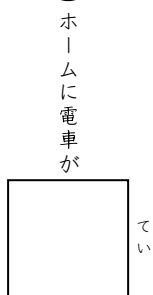
/ 16

6



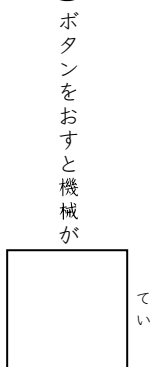
棄 き
すべき卑劣な行為だ

5



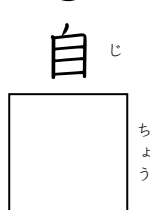
車 しゃ
する

4



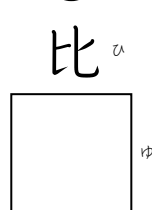
止 し
する

3



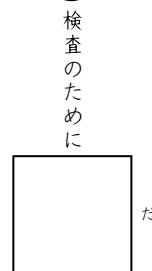
味に肩をすくめる

2



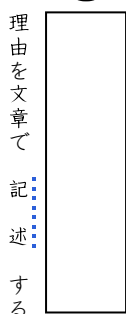
を交えて説明する

1

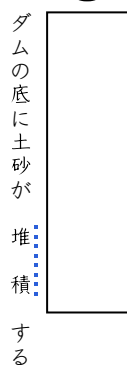


液 えき
を採取する

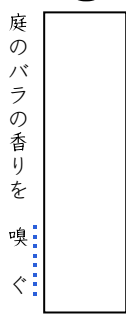
12



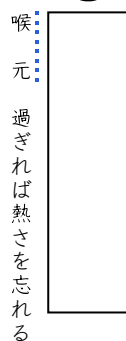
11



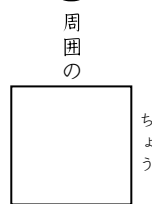
10



9



8



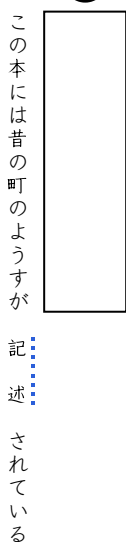
笑 しょう
にも屈しない

7

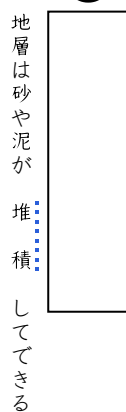


隠 いん
の例だ

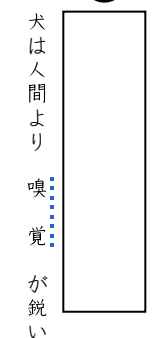
16



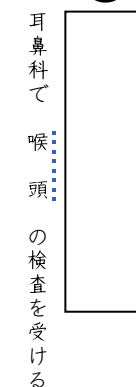
15



14



13





2きゅう 56かん たんい3 B

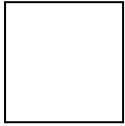
なまえ



/ 16

6

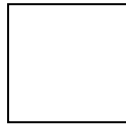
鼻の奥の



神 しん
 経 けい
 が傷つく

5

声変わりで



仏 ぼとけ
 が目立つ

4

理由を文章で

記 き

する

3

ダムの底に土砂が



積 せき
 する

2

犬は人間より



覚 かく
 が鋭い

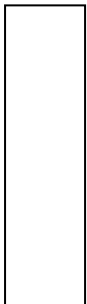
1



元 もと
 過ぎれば熱さを忘れる

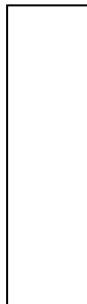
12

ボタンをおすと機械が
 停止する



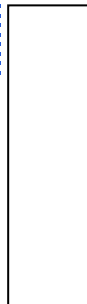
11

降伏した敵将を兵たちが
 嘲る



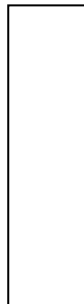
10

比喩を交えて説明する



9

検査のために唾液を採取する



8

先生が



する文を書き取る

7

落ち葉で



肥 ひ
 を作る

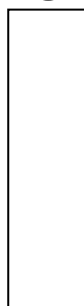
16

詩の中の暗喩を読み解く



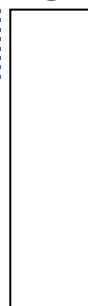
15

大雨で電車が運転を停止した



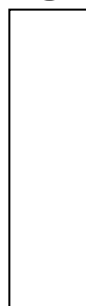
14

自嘲 気味に肩をすくめる



13

緊張のあまり生唾を飲み込む





2きゅう 56かん ふりかえり3 A

なまえ



/ 24

8

比^ひ

を交えて説明する

7

検査のために

液^{えき}

を採取する

6

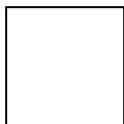
ニホンザルが子を

育^{いく}

する

5

古代の

術^{じゅつ}

を研究する

4

寺の本堂にお香の



い

が漂う

3

国境で紛争が

発^{はつ}

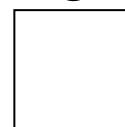
する

2

那^な

の輝きを写真に収める

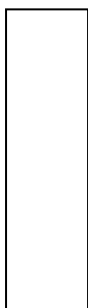
1

金^{きん}

の技術が発達する

16

語呂のいい名前を考える



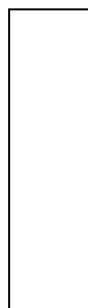
15

屋根の勾配をゆるくする



14

木の皮を剥ぐ



13

決勝は凄絶な打ち合いになった



12

ボタンをおすと機械が

止^し

する

11

九九を声に出して

記^き

する

10

小学校に入って

年^{ねん}

がたつ

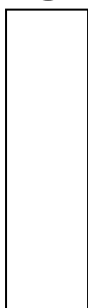
9

自^じ

気味に肩をすくめる

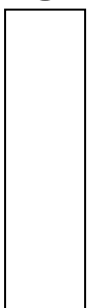
24

理由を文章で記述する



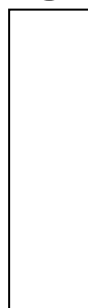
23

昔の人が石を積んで城を築いた



22

電池が切れて時計が止まる



21

ダムの底に土砂が堆積する



20

庭のバラの香りを嗅ぐ



19

喉元過ぎれば熱さを忘れる



18

歌舞伎の長唄を稽古する



17

歌手が咽喉の不調で休演する





2きゅう 56かん ふりかえり3 B

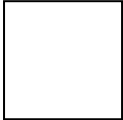
なまえ



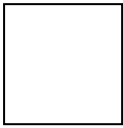
/ 24

8

犬は人間より

覚
かく
が鋭い

7



のと

元

もと
過ぎれば熱さを忘れる

6

歌舞伎の

長

なが



うた

を稽古する

5

歌手が



いん



こう

の不調で休演する

4

語

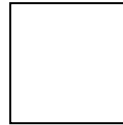


ろ

のいい名前を考える

3

屋根の



こう

配

ばい

をゆるくする

2

戦国大名が領地を



はく

奪

だつ

される

1

決勝は



せい

絶

ぜつ

な打ち合いになった

16

試合当日の大雨を



呪う

15

庭の梅の花が



匂う

14

国境で紛争が



勃発する

13

利那の輝きを写真に収める



12

冶金の技術が発達する



11

理由を文章で



じゆうつ

記

き

する

10

ヨーロッパの



じょう

古

こ

を訪ねる

9

ダムの底に土砂が



たい

積

せき

する

24

入学したばかりの一年生が校庭にならぶ



23

ボタンをおすと機械が停止する



22

詩を暗記して発表する



21

おやつクッキーを一つずつくばる



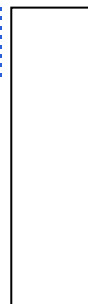
20

降伏した敵将を兵たちが嘲る



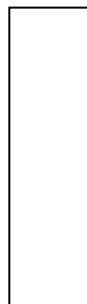
19

比喩を交えて説明する



18

検査のために唾液を採取する



17

ニホンザルが子を哺育する





2きゅう 56かん ふりかえり3 B-2

なまえ



/ 24

8

風^{ふう}場^ば

の換気扇を回す

7

容疑者の

留^{りゅう}

を延長する

6

登山電車が

急^{きゅう}配^{ばい}

を上る

5



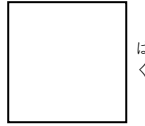
はく

落^{らく}

した漆を修復する

4

山小屋に



はく

製^{せい}

の熊を飾る

3

女形の



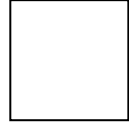
せい

艶^{えん}

な舞に見入る

2

空襲の



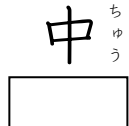
せい

惨^{さん}

な体験を語り継ぐ

1

台風で花火大会が



ちゅう

中^{ちゅう}

になる

16

陶冶

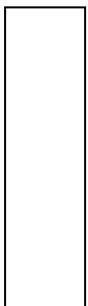
された品性がにじみ出る



15

鉄鋼会社に入るため 冶金学

を専攻する



14

台風の夜に 停電

して家が暗くなった



13

急行はこの駅には 停車

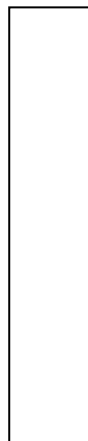
しない



12

雨がふって 一日中

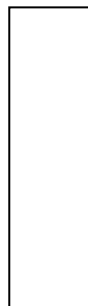
外で遊べない



11

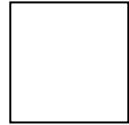
カレンダーをめくると六月一日

だった



10

内視鏡で

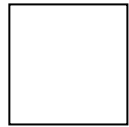


いん

頭^{とう}

を検査する

9

風^{ふう}

ろ

敷^{しき}

で贈り物を包む

24

邪馬台国の卑弥呼は 呪術

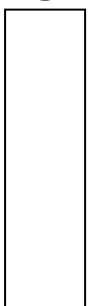
で国を治めたとされる



23

長年のジングスの 呪縛

から解き放たれる



22

着物に 匂い袋

を忍ばせる



21

台所からカレーの 匂い

がする



20

江戸時代後期に町人文化が 勃興

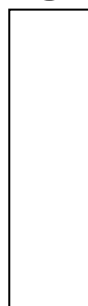
する



19

第一次世界大戦が 勃発

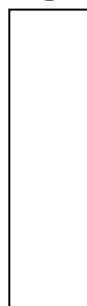
した年を調べる



18

千年の歴史を誇る 古刹

を訪ねる



17

目が合った 刹那

に事情を察した





2きゅう 56かん たんい4 れんしゅう (1)

なまえ



填

音

テン

- ・装填 そつてん
- ・充填 じゅうてん
- ・補填 ほてん

 部首
 填 13画
 つちへん

塞

訓

音

 ふさ ソ サイ
 (がる) (ぐ)

- ・閉塞 へいそく
- ・要塞 ようさい
- ・塞ぐ ふうぐ

 部首
 塞 13画
 つち

妬

訓

音

 ねた ト
 (む)

- ・妬心 としん
- ・嫉妬 しつと
- ・妬む ねたむ

 部首
 妬 8画
 おんなへん

妖

訓

音

 あや ヨウ
 (しい)

- ・妖精 ようせい
- ・妖しい あやしい
- ・妖怪 ようかい

 部首
 妖 7画
 おんなへん




2きゅう 56かん たんい4 れんしゅう (2)

なまえ



宛		嫉	
	訓 あ (てる)		音 シツ
	・宛 名 あてな ・宛 先 あてさき ・宛 て あて		・嫉 妬 深 い しつとぶかい ・嫉 妬 心 しつとしん ・嫉 妬 しつと
	部 首 宛 うかんむり 8 画		部 首 嫉 おんなへん 13 画

搬		至	
	音 ハン		訓 音 いた(る) シ
	・搬 出 はんしゅつ ・搬 入 はんにゅう ・運 搬 うんぱん		・夏 至 げし ・至 急 しきゅう ・至 る いたる
	部 首 搬 てへん 13 画		部 首 至 いたる 6 画





2きゅう 56かん たんい4 よみのれんしゅ
う2

なまえ



妖	妖	填	填	塞	塞
	訓 あや (しい)	音 ヨウ		訓 ふさ (がる)	音 ソク サイ
	・ 妖精 ようせい	・ 妖しい あやしい	・ 妖怪 ようかい		・ 要塞 ようさい
					・ 塞がる ふさがる

部首
妖
おんなへん
7画

部首
填
つちへん
13画

部首
塞
つち
13画





2きゅう 56かん たんい4 A

なまえ

/ 15



5

大きな荷物が通路を

いさぐ

4

土砂で水路が

閉

へい
そく
する

3

大事な用事なので

し

急

きゅう
電話する

2

民俗学者が

よう

怪

かい
の伝承を集める

1

敵の侵入に備えて

要

よう
さい

を築く

10

人事部宛てに書類を送る

いさぐ

9

弟子の名声を老いた師匠が妬む

いさぐ

8

保険で損害を補填する

いさぐ

7

昼が一番長い

夏

し

の日を調べる

6

物語の魔女が

よう

術

じゅつ
を使う

15

工場のベルトで部品を搬送する

いさぐ

14

年賀状の宛名書きを済ませる

いさぐ

13

複写機にトナーを装填する

いさぐ

12

映画が兄弟の嫉妬を描く

いさぐ

11

トラックで木材を運搬する

いさぐ





2きゅう 56かん たんい4 A-2

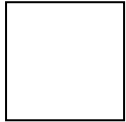
なまえ



/ 15

5

荒れ果てた古城に



気

が漂う

4



精

が登場する戯曲を読む

3

中世ヨーロッパの

城



を巡る

2

職場の

閉

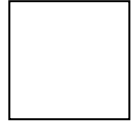


感

を打破する

1

同期の活躍に



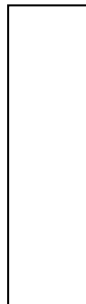
妬

を覚える

10

消火器に薬剤を
充填する

9

赤字を国の予算で
補填する

8

優勝は選手の



上

の喜びだ

7

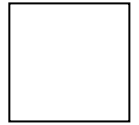
冬



の日にゆず湯に入る

6

胸の



妬

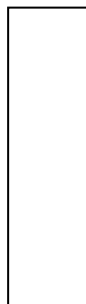
心

を抑える

15

寺の防災訓練で仏像を
搬出する

14

朝早くから店に商品を
搬入する

13

手紙の宛先を書き間違える

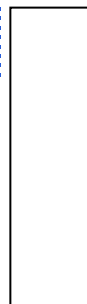


12

友人の才能が妬ましい
と思った日もある

11

妬心を胸にしまつて笑顔で接する





2きゅう 56かん たんい4 B

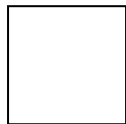
なまえ



/ 15

5

封筒の表に



あて

名

な
を記す

4

ひびに

充

じゅう



てん

剤

ざい

を詰める

3

トラックで木材を

運

うん



ばん

する

2

メールの



あて

先

さき

を確かめる

1

保険で損害を

補

ほ



てん

する

10

話し合いがやっと結論に

至る

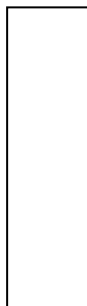


9

同期の活躍に

嫉妬

を覚える

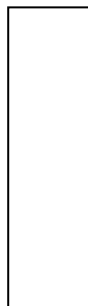


8

民俗学者が

妖怪

の伝承を集める



7

大きな荷物が通路を

塞ぐ



6

展示会の作品を



はん

入

にゅう

する

15

先生から

至急

来てほしいと言われた

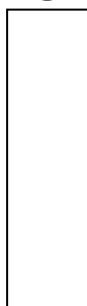


14

周囲の

嫉視

を浴びる

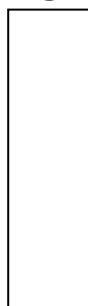


13

月夜の桜が

妖しい

美しさを見せる



12

土砂で水路が

閉塞

する

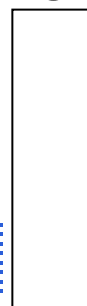


11

敵の侵入に備えて

要塞

を築く





2きゅう 56かん たんい4 B-2

なまえ



/ 14

5

書類の

名^な

あて

人^{にん}

を確認する

4



と

心^{しん}

は人を苦しめる

3

カメラにフィルムを

装^{そう}

てん

する

2

ボンベにガスを

充^{じゅう}

てん

する

1

映画が兄弟の

嫉^{しっ}

と

を描く

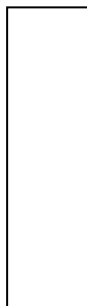
10

人間万事塞翁が馬



9

一週間で傷口が塞がる



8

負傷者が病院へ



はん

送^{そう}

される

7

引っ越して家具を



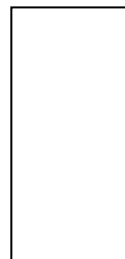
はん

出^{しゅつ}

する

6

恩師に

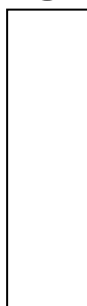


あてる

礼状をしたためる

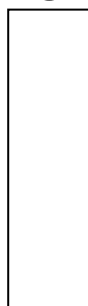
14

十二月の冬至にかぼちゃを食べる



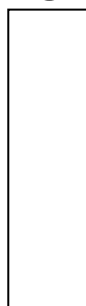
13

六月の夏至の日は夜が短い



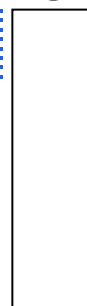
12

英雄が妖魔を退ける伝説が残る



11

妖艶な色彩の日本画が並ぶ





2きゅう 56かん たんい5 れんしゅう (1)

なまえ



崖

崖

訓

がけ

音

ガイ

崖 崖
がけくずれ
断崖 だんがい
崖 崖
がけ

部首
崖 やま 11画

尻

尻

訓

しり

言葉尻
ことばじり
帳尻 ちょうじり
目尻 めじり

部首
尻 しかばね 5画

巾

巾

音

キン

頭巾 ずきん
布巾 ふきん
雑巾 ぞうきん

部首
巾 はば 3画

嵐

嵐

訓

あらし

山嵐 やまあらし
砂嵐 すなあらし
嵐 あらし

部首
嵐 やま 12画





2きゅう 56かん たんい5 れんしゅう (2)

なまえ



弥

弥

訓

や

弥や

弥生人
やよいじん

部首

弥

ゆみへん

8画

弄

弄

訓

もてあそぶ

音

ロウ

愚弄
ぐろう翻弄
ばんろう弄ぶ
もてあそぶ

部首

弄

にじゅうあし

7画

某

某

音

ボウ

某社
ぼうしゃ某国
ぼうこく某所
ぼうしょ

部首

某

き

9画

銳

銳

訓

するどい

音

エイ

精銳
せいえい銳角
えいかく銳い
するどい

部首

銳

かねへん

15画





2きゅう 56かん たんい5 A

なまえ



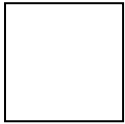
/ 16

6

尾根から

山

やま



あらし

が吹き下ろす

5

家計の

帳

ちよう



じり

を合わせる

4

三角形の



えい

角

かく

を測る

3

小舟が荒波に

翻

ほん



ろう

される

2

ラクダの隊列が

砂

すな



あらし

に遭う

1

笑うと

目

め

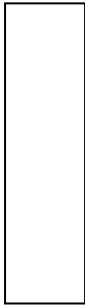


じり

にしわが奇る

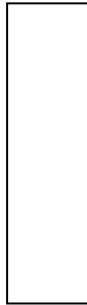
12

記者と都内の某所で落ち合う



11

弥生人の住居跡を復元する



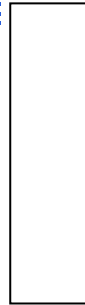
10

教室の床を雑巾で磨く



9

崖の上に古い家が建つ



8

選りすぐりの

精

せい



えい

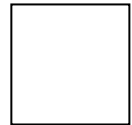
で戦う

7

市民を

愚

ぐ

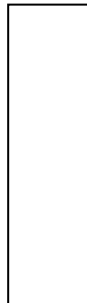


ろう

する答弁に抗議する

16

業界に詳しい某氏の話では値上げが近いらしい



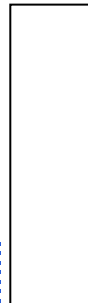
15

弥生時代に稲作が広まった



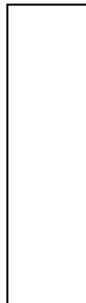
14

古いタオルを縫って雑巾を作る



13

海に面した断崖に立つ灯台





2きゅう 56かん たんい5 B

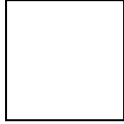
なまえ



/ 15

5

大雨で



崩れ

が起きる

4

記者と都内の



所

で落ち合う

3

陰暦三月の別名「やよい」の最初の漢字



や

2

教室の床を

雑



で磨く

1

海に面した

断



に立つ灯台

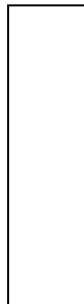
10

権力を弄ぶ政治家を風刺する



9

演奏が終わると拍手の嵐が起きた



8

笑うと尻にしわが寄る



7

記事には



国

とだけある

6

洗った台所の

布



を干す

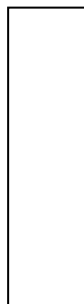
15

九十度より小さい鋭角を描く



14

昨夜の大嵐で庭木が倒れた



13

成績は尻上がりに良くなった



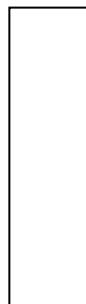
12

小舟が荒波に翻弄される



11

タカの爪は鋭い





2きゅう 56かん たんい6 れんしゅう (1)

なまえ



怨

怨

音

オン エン

- ・ 怨念 おんねん
- ・ 私怨 しえん
- ・ 怨霊 おんりょう

 部首
 怨 心
 こころ 9画

彙

彙

音

イ

- ・ 基礎語彙 きそごい
- ・ 語彙力 ごいりょく
- ・ 語彙 ごい

 部首
 彙
 けいがしら 13画

惧

惧

音

グ

- ・ 絶滅危惧 ぜつめつきぐ
- ・ 危惧 きぐ

 部首
 惧 心
 りっしんべん 11画

恣

恣

音

シ

- ・ 恣意性 しいせい
- ・ 恣意的 しいてき
- ・ 放恣 ほうし

 部首
 恣 心
 こころ 10画




2きゅう 56かん たんい6 れんしゅう (2)

なまえ



渴

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

訓

かわく

音

カツ

・ 渴望 かっぱう
・ 渴水 かっすい
・ 渴ぎ かわき

俊

1 2 3 4 5 6 7 8 9

音

シュン

・ 俊才 しゅんさい
・ 俊敏 しゅんびん
・ 俊足 しゅんそく

慄

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

音

リツ

・ 慄然 りっぜん
・ 戦慄 せんりつ

部首

渴

さんずい

11画

部首

俊

にんべん

9画

部首

慄

りっしんべん

13画





2きゅう 56かん たんい6 A

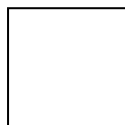
なまえ



/ 14

5

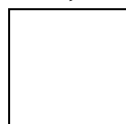
受験生が

語ご力りよく

を鍛える

4

雨が少なく夏の

水すい

が心配だ

3

地震の映像に

戦せん

を覚える

2

長年の

放ほう

な暮らしを改める

1

読書で

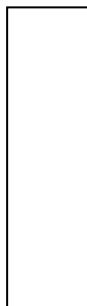
語ご

を増やす

10

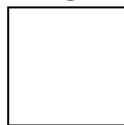
専門家が危危険の念を示す

9

平安貴族は怨怨霊を恐れた

8

自由を

望ぼう

する人々

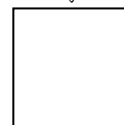
7

然ぜん

として立ちすくむ

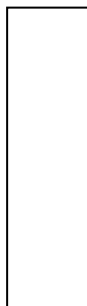
6

審査の基準が

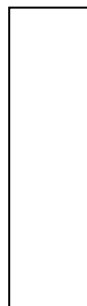
意い的てき

だ

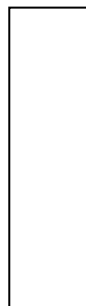
14

商店街の衰退を危危険する声がある

13

俊逸俊逸な作品を表彰する

12

公の場に私私怨を持ち込まない

11

俊足俊足を生かして盗塁する



2きゅう 56かん たんい6 B

なまえ



/ 14

5

古い怪談に



おん

念

ねん

がこもる

4



しゅん

敏

びん

な身のこなし

3



しゅん

足

そく

を生かして盗塁する

2

専門家が

危

き



ぐ

の念を示す

1

平安貴族は



おん

霊

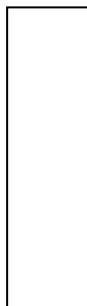
りょう

を恐れた

10

のどの
渇
きを
覚える

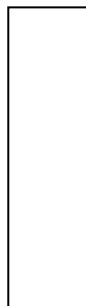
9

地震の映像に
戦
慄
を覚える

8

長年の
放
恣
な暮らしを改める

7

読書で
語
彙
を増やす

6

絶
滅
危

ぜつ

めつ

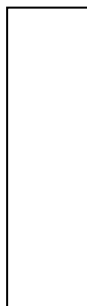
き



ぐ

とされる

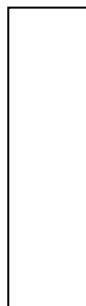
14

日照りで川が細り
渇
水
に陥る

13

戦
慄
すべき事実が判明する

12

法の運用に役人の
恣
意
が入り込む

11

豊富な
語
彙
で巧みに話す



2きゅう 56かん ふりかえり6 A

なまえ



/ 24

8

同期の活躍に



妬

を覚える

7

敵の侵入に備えて

要



を築く

6

自



気味に肩をすくめる

5

検査のために



液

を採取する

4

ニホンザルが子を



育

する

3

寺の本堂にお香の



い

が漂う

2

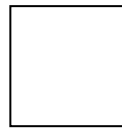
国境で紛争が



発

する

1



金

の技術が発達する

16

民俗学者が妖怪の伝承を集める



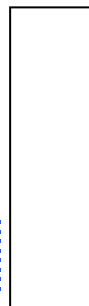
15

比喩を交えて説明する



14

試合当日の大雨を呪う



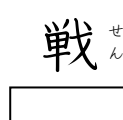
13

刹那の輝きを写真に収める



12

地震の映像に



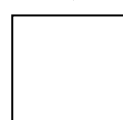
戦

を覚える

11

読書で

語



を増やす

10

小舟が荒波に

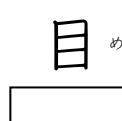


翻

される

9

笑うと



目

にしわが寄る

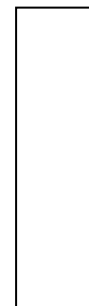
24

のどの渇きを覚える



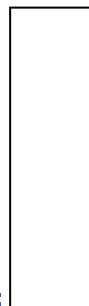
23

タカの爪は鋭い



22

話し合いがやっと結論に至る



21

ボタンをおすと機械が停止する



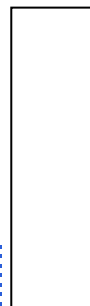
20

詩を暗記して発表する



19

おやつのクッキーを一つずつくばる



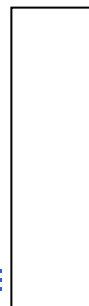
18

長年の放恣な暮らしを改める



17

演奏が終わると拍手の嵐が起きた





2きゅう 56かん ふりかえり6 B

なまえ



/ 24

8

ヨーロッパの

古



を訪ねる

7

台風で花火大会が

中



になる

6

専門家が

危



の念を示す

5

教室の床を

雑



で磨く

4

映画が兄弟の

嫉



を描く

3

犬は人間より



覚

が鋭い

2

歌手が



喉

の不調で休演する

1

戦国大名が領地を



奪

される

16

喉元

過ぎれば熱さを忘れる

15

歌舞伎の長唄

を稽古する

14

語呂

のいい名前を考える

13

屋根の勾配

をゆるくする

12

決勝は凄絶

な打ち合いになった

11

記者と都内の

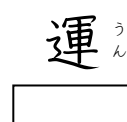


所

で落ち合う

10

トラックで木材を



運

する

9

理由を文章で



記

する

24

俊逸

な作品を表彰する

23

俊足

を生かして盗塁する

22

平安貴族は怨霊

を恐れた

21

弥生人の住居跡を復元する

20

崖の上に古い家が建つ

19

人事部宛てに書類を送る

18

保険で損害を補填する

17

ダムの底に土砂が堆積する





2きゅう 56かん かん字のしくみ 1

なまえ



/ 18

6

勾

部首



5

勃

部首



4

剥

部首



3

刹

部首



2

淒

部首



1

冶

部首



12

唄

部首



11

哺

部首



10

咽

部首



9

呪

部首



8

呂

部首



7

勾

部首



18

堆

部首



17

嘲

部首



16

嗅

部首



15

喻

部首



14

喉

部首



13

唾

部首





2きゅう 56かん かん字のしくみ 2

なまえ



/ 17

6

宛

部首



5

嫉

部首



4

妬

部首



3

妖

部首



2

填

部首



1

塞

部首



12

弥

部首



11

弄

部首



10

巾

部首



9

嵐

部首



8

崖

部首



7

尻

部首



17

慄

部首



16

惧

部首



15

恣

部首



14

怨

部首



13

彙

部首





2きゅう 56かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24



次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24							
自嘲的 な口調で過去を振り返る	世間の嘲りを受けても信念を曲げない	においては嗅細胞で感じる	危険を嗅ぎ取る	耳鼻科で喉頭の検査を受ける	声変わりて喉仏が目立つ	出所不明の統計は眉唾だ	唾棄すべき卑劣な行為だ	大雨で崖崩れが起きる	岩壁の磨崖仏を拝む	友人の才能が妬ましい と思った日もある	妬心は人を苦しめる	月の光が湖面を妖しく照らす	妖刀村正が博物館で公開される	騒音に思わず耳を塞ぐ	島全体が要塞として使われた	観光客が大きな城門をくぐる	昔の人が石を積んで城を築いた	目が部屋の暗さになれてきた	たんていが暗号をとく	転がってきたボールを足で止める	中止になった遠足は来週行く	風が木の葉を弄ぶ	激動の時代に翻弄された一族を描く





2きゅう 56かん じゅくごのくみたて

なまえ



/ 20

6

呪文

5

勃興

4

剥奪

3

名利

2

凄惨

1

冶金

二字の意味のつながりを考え、
合う説明の記号を書きましょう。

ア 意味の近い二字

イ 反対の意味や対になる二字

ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す

エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す

オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

未定 読書 急行 左右 温暖

14

堆肥

13

嘲弄

12

隱喻

11

喉元

10

生唾

9

小唄

8

哺乳

7

咽喉

20

目尻

19

嫉妬

18

妬心

17

妖怪

16

補填

15

閉塞





2きゅう 56かん ごじをなおす

なまえ

/ 24



次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1 野金学の研究室に入る

誤
正

2 女形の政艶な舞に見入る

誤
正

3 節那の輝きを写真に収める

誤
正

4 戦国大名が領地を拍奪される

誤
正

5 鬱没たる野心を抱く

誤
正

6 下り項配が続く

誤
正

7 語炉のいい名前を考える

誤
正

8 遺跡から樹具が出土する

誤
正

9 内視鏡で院頭を検査する

誤
正

10 保乳瓶を煮沸する

誤
正

11 検査のために駄液を採取する

誤
正

12 耳鼻科で効頭の検査を受ける

誤
正

13 「人生は旅だ」は隠癒の例だ

誤
正

14 犬は人間より球覚が鋭い

誤
正

15 自嘲的な笑みを浮かべる

誤
正

16 ダムの底に土砂が帯積する

誤
正

17 土砂で水路が閉足する

誤
正

18 ポンペにガスを充点する

誤
正

19 荒れ果てた古城に養気が漂う

誤
正

20 塗心は人を苦しめる

誤
正

21 海に面した断概に立つ灯台

誤
正

22 痛めた腕を三角謹でつる

誤
正

23 小細工を郎する

誤
正

24 受験生が語遺力を鍛える

誤
正





2きゅう 56かん ぶんや れんしゅう1

なまえ



察		勢		野	
	音 サツ		訓 音 いきお (い) セイ		訓 音 の ヤ
	・ 察 ざつち ・ 考 こうさつ ・ 観 かんさつ		・ 大 たい ・ 勢 せいりよく ・ 姿 せい		・ 野 ざい ・ 球 ぎゅう ・ 原 げん
	部首 察 うかんむり 14画		部首 勢 ちから 13画		部首 野 さとへん 11画

路		没		迫	
	訓 音 じ ロ		音 ボツ		訓 音 せま (る) ハク
	・ 通 ふうろ ・ 線 せんろ ・ 道 どうろ		・ 日 にちぼつ ・ 没 ぼつとう ・ 没 ぼつしゅう		・ 圧 あつぱく ・ 迫 ぼく ・ 迫 ぼく
	部首 路 あしへん 13画		部首 没 さんずい 7画		部首 迫 しんによう 8画





2きゅう 56かん ぶんや れんしゅう2

なまえ



保	保	因	因	授	授
	訓 音 たも ホ (三)		訓 音 よ イン (る)		訓 音 さず ジュ (かる) (ける)
	・保健室 ・保護 ・確保		・要因 ・勝因 ・原因		・伝授 ・教授 ・授業
	部首 保 にんべん 9画		部首 因 くにがまえ 6画		部首 授 てへん 11画

諭	諭	打	打
	訓 音 さと ユ (す)		訓 音 う ダ (三)
	・諭旨 ・説諭 ・教諭		・打線 ・打者 ・安打
	部首 諭 ごんべん 16画		部首 打 てへん 5画





2きゅう 56かん おなじおんのかんじ

なまえ



/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

8 □ 真 しん の演技に引き込まれる	7 山小屋に □ 製 せい の熊を飾る	6 鎌倉の 名 めい □ を巡る	5 落とし物を 警 けい 言 □ に届ける	4 空襲の □ 惨 さん な体験を語り継ぐ	3 本を読むときは 姿 し □ を正す	2 □ 金 ぎん 学 がく の研究室に入る	1 ぼくは試合で 外 がい □ をまかされた
16 遺跡から □ 具 ぐ が出土する	15 祖母が料理のこつを 伝 でん □ する	14 風 ふ □ 敷 しき で贈り物を包む	13 公園の 迷 めい □ で出口を探す	12 容疑者の 留 りゅう □ を延長する	11 耳鼻科で 頭 とう □ の検査を受ける	10 □ 然 ぜん として顔色を変える	9 海面上昇で島が 水 すい □ する
24 □ 旨 し 免 めん 職 しょく となる	23 「人生は旅だ」は 隠 いん □ の例だ	22 検査のために 液 えき □ を採取する	21 九回に 線 せん □ がつかがる	20 水とうでお茶を 温 おん □ する	19 □ 乳 りゅう 類 らい の進化をたどる	18 テレビがこわれた 原 げん □ を調べる	17 内視鏡で 頭 とう □ を検査する

